

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
ひがし・子どもすこやか成長プロジェクト事業		企画総務課					
事業目的	事業効果	活動指標	R1	R2	R3		
各学校と連携し、東区内の市立小・中学校等に通う児童・生徒に向けて、スマホ利用時の注意点や基本的な生活習慣について啓発推進し、子どもたちの安全で健康的な生活習慣の定着を目指す。	啓発リーフレットの配付をきっかけとして、子どもたちのスマホ利用のリスクや基本的な生活習慣について、保護者や子どもの気づきを促す。	「家族で考えよう中学生活とスマホ」リーフレット配付数(部)	1,003	972	953		
		「家族で考えようスマホの危険性」リーフレット配付数(セット)	1,097	1,121	1,120		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性				
○	児童・生徒及びその保護者に向けた事業であること、また、事象等の収集・集積などの結果から内容を精査する必要があることなどから、区が中心となり実施すべき事業である。	○	東区全域で取組を展開するため、リーフレット等の作成・配付に小・中学校関係者にご協力いただいている。	○	学校を通じて保護者にリーフレット等を手渡すことで、児童・生徒にスマホ利用時の注意点や基本的な生活習慣について啓発推進していることをPRできる。	○	市立小・中学校等と連携し、学校の個人懇談会等の機会を通じてリーフレットなどを保護者に配付している。
⑤自立発展性	総合評価						
△	東区全域で取組を展開するため、市立小・中学校の個人懇談会等の機会にリーフレットなどを配付することなどから、行政の主導で実施すべき事業である。	○	スマホのリーフレット等を作成し、学校を通じて効率的に配付することで、子どもたちのスマホ利用のリスクや基本的な生活習慣について効果的に周知することができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 拡充 継続 見直し 廃止 </div>	啓発リーフレットを小学校の懇談会や中学入学説明会等の機会に保護者に配付し、子どもたちのスマホ利用のリスクや基本的な生活習慣について効果的に周知することができた。今後も、子どもたちのスマホ利用のリスクや基本的な生活習慣について、時代に即した内容を検討するとともに、保護者や子どもの気づきをより効果的に促すことができるよう、アプローチや手法を見直す。						